

脚注の付け方

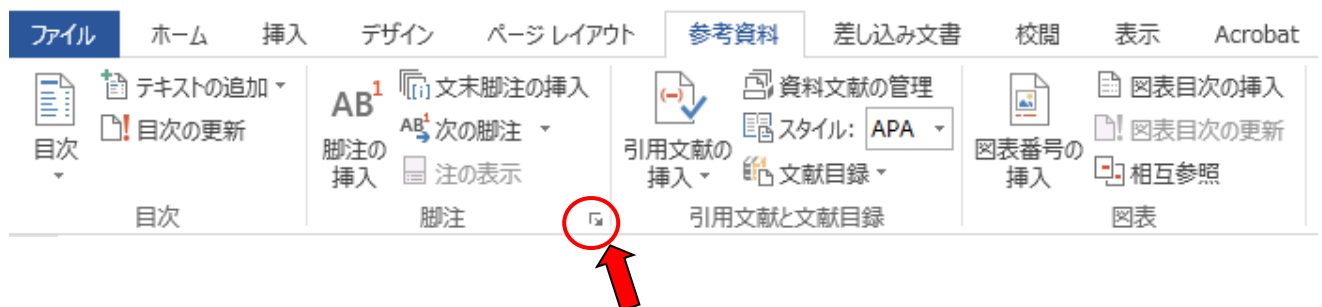
- 1)脚注を付ける場所にカーソルを置きます。
※最期の文字と「。(句点)」の間です。

【例】

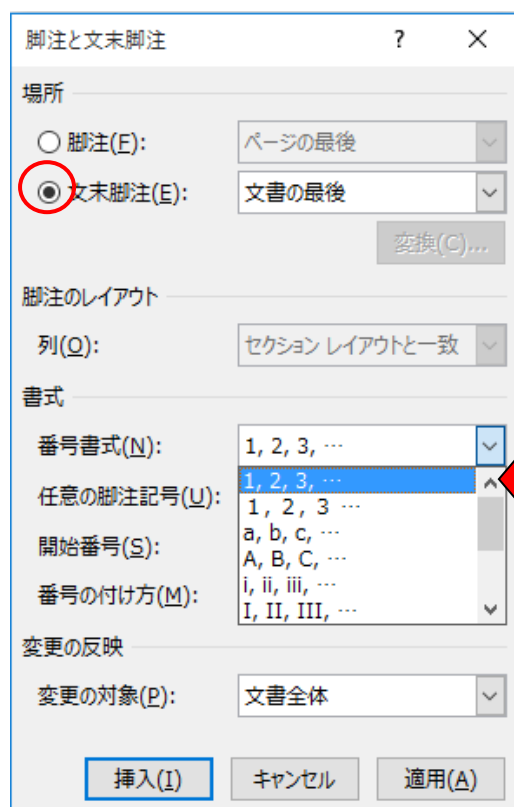
1)アメリカでの背景

アメリカにおいては、1970年代の終わり頃からケアマネジメントの必要性がいわれるようになってきている。それは、さまざまな福祉サービスがこの時期までに発展し、整備されてきたことと深い関係がある。つまり、複数の福祉サービスが用意されてきたが、それぞれのサービスはバラバラで調整されていなかったのである。

- 2)ツールバーの「参考資料」をクリック、「脚注」の右下にある「」印をクリックします。



- 3)場所については、「文末脚注(E)」を選ぶ。



さらに、書式番号は「1.2.3.…」(半角)を選択。その後、「挿入」ボタンを押す。

4)すると、文章の最後に以下のような脚注欄が挿入される。

1 |

5)そこに、脚注としての文章を書く。

※文字のポイント数は 9.0 である。

1 ギルバートとスペクトは、この状況をもとに、個人を尊重することと同時に、能率の観点から次のようなことを指摘している。

①サービスの断片化 (fragmentation)

②一貫性のなさ (discontinuity)

③利用しにくさ (inaccessibility)

④あてにできないこと (unaccountability)

黒川昭登 (1983)『福祉はいかにあるべきか』誠信書房、29-44. に上記のことが紹介されている。原典は、Neil Gilbert and Harry Spect.(1974): *Dimension of Social Welfare Policy*, Prentice Hall Inc. である。